



行動変容イノベーションが導く、
その先の、道へ。

北海道行動デザインチーム

Hokkaido Behavioral insight Team

の取組みについて

2022年7月27日(水) BECC JAPAN 2022 前夜祭



北海道行動デザインチーム

Hokkaido Behavioral insight Team

北海道行動デザインチーム

2

(Hokkaido Behavioral Insight Team = HoBiT)

活動趣旨

1. ナッジをきっかけとしたアウトカム（成果）思考の政策推進
2. 若手職員による自発的なスモールスタート機会の創出
3. 分野横断型の庁内外・道内外ネットワークの構築

- ✓ 2020年3月に職員有志によりボトムアップで発足【有志活動】
- ✓ 有志活動に加え、職員提案型の政策形成チームとして活動【公式活動】
→ 「有志」×「公式」のハイブリッドで活動中
- ✓ 2022年7月現在、約50名のコミュニティメンバー

主な活動実績



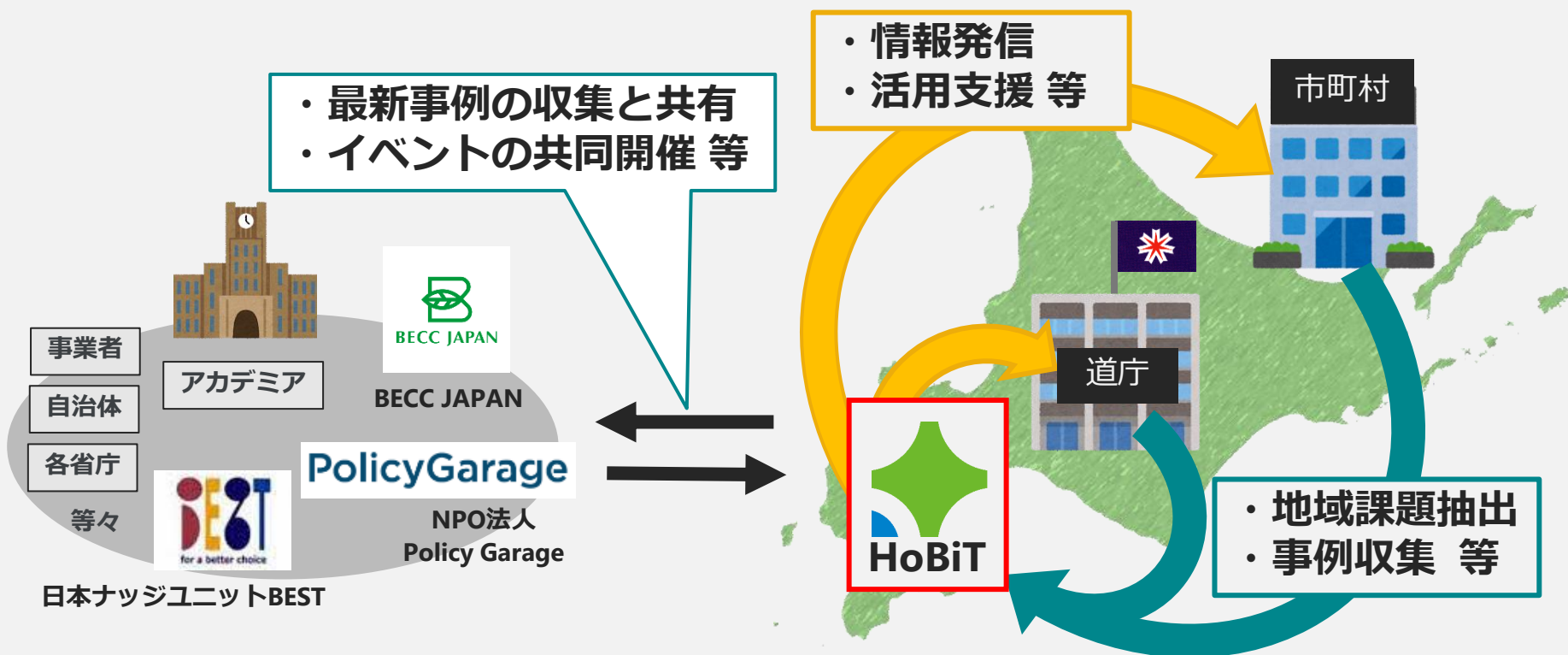
情報発信 40[※]回以上（講演等31件、論文等7本、TVメディア2回）



事例創出 11[※]件以上（レジ袋の辞退促進、食ロス削減など）

※直近の予定や
検討中を含む

HoBiTは道内における**情報ハブ**拠点を目指す



「ナッジ」によるアウトカム（行動変容）達成には、
「デザイン思考」による課題設定や政策設計が必要。

デザイン思考のフレームワーク ※



課題の
発見



アウトカムの
特定



ナッジの
開発



介入と効果検証の
実践

人間中心のデザイン（等身大の人間がとる行動を想像、共感）

「ナッジ」×「デザイン思考」の両輪により、
道内公共サービスの質向上に貢献する

※デザイン思考のためのフレームワーク「ダブルダイヤモンド」をもとに、HoBiT作成

政策への活用促進に向け、段階に応じたアプローチ

⇒習得期、実践期、展開期ごとに、更なる展開に向けた滑走路を整備する

I 習得期

知る

理解する

ボトルネック例

- ・知る機会がない
- ・理解できない
- ・意欲がない
- ・拒否反応

①興味、関心を促す

- ・階層別研修
- ・その他情報発信

II 実践期

活用できる
と思う

実際に
活用する

ボトルネック例

- ・イメージ不足
- ・職場理解不足
- ・失敗の不安
- ・公務としての倫理的な確保

②先導事例を創出する

- ・他県事例の収集、紹介
- ・実証実験等の支援

III 展開期

ほかの人に
勧める、教える

組織、社会に
働きかける

ボトルネック例

- ・事例が少ない
- ・組織や社会体制上の課題
- ・媒体不足

③支援体制を整備する

- ・事例の蓄積
- ・庁内外ネットワーキング

HoBiTによる伴走支援

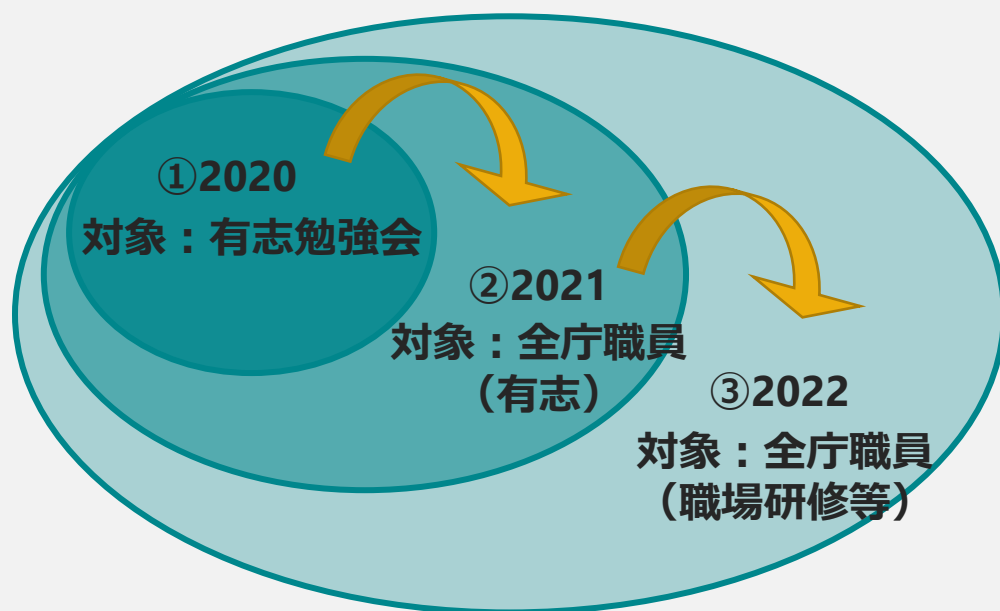
これまでの活動状況 (2020～22)

①興味・関心を促す（研修・情報発信） 7

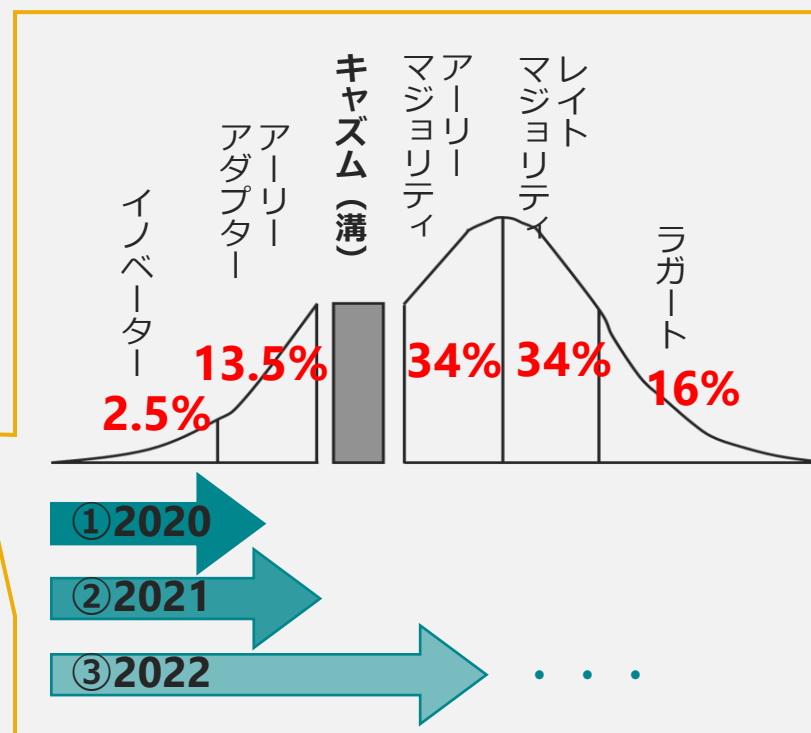
庁内職員や道内市町村職員を対象とした普及啓発（行事・研修会等）を展開

- 認知していない層への理解促進～実践に向けた道筋を整備
- 一緒に事例を創出していく仲間づくりへ

HoBiT活動の進捗に応じ、より幅広に訴求するために研修対象者を拡張。



訴求するターゲット層の変遷（イメージ）
※道庁内の場合



②先導事例を創出する

8

北海道での事例創出を行い、政策適用に向けた先導事例を創出

→ 「やれるかも？」と思わせる事例を目指す

(1) 国内の既存事例で得られた知見を北海道版にローカライズ

▶ レジ袋の削減 (2020)

既存事例) 経産省



レジ袋が必要な場合に
カードを提示
(辞退をデフォルト化)

レジ袋辞退率が **24ポイント上昇**
(39% → 63%)

▶ 消毒剤の利用促進ナッジ (2020)

既存事例) 宇治市、つくば市 (ほか)



矢印テープによる
認知強化

警備員による
消毒剤誘導

消毒剤

消毒剤を来庁者の
動線上に配置

消毒剤利用率が **51ポイント上昇**
(26% → 77%)

②先導事例を創出する

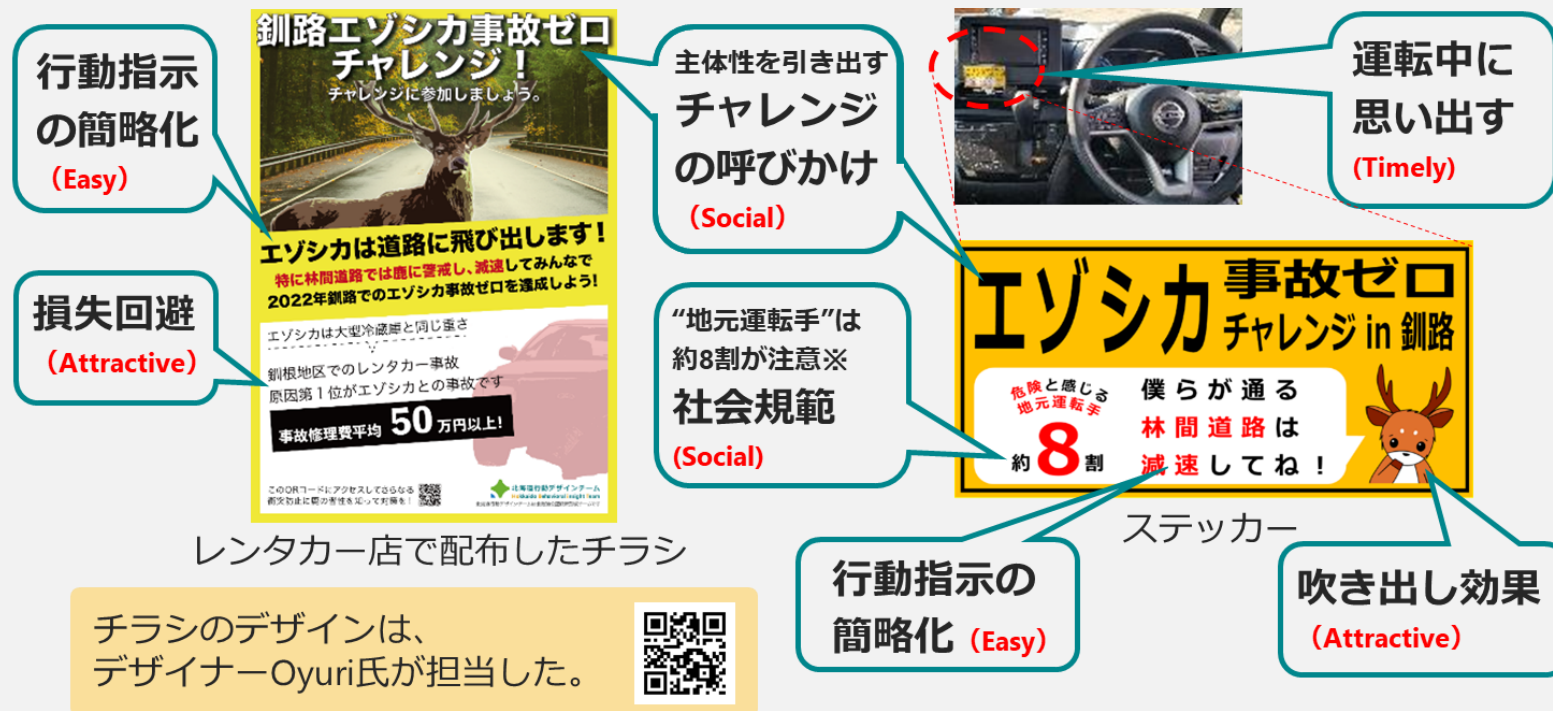
9

北海道での事例創出を行い、政策適用に向けた先導事例を創出

→ 「やれるかも？」と思わせる事例を目指す

(2) 北海道独自の取組としてモデルケースを創出

▶ エゾシカの交通事故対策（2020-21）



→ 「やれるかも？」と思わせる事例を目指す

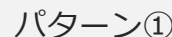
▶ 飲酒運転検挙者への保健指導促進（2021-22）

※保健指導の勧奨文書をナッジで改善

封筒開封時、4つ折りした勸奨
文書の表紙左上のメッセージが
最初に見えるよう、設計。



A5サイズ（両面印刷）×2枚
※2つ折りで封筒に封入



パターン②

A4サイズ（両面印刷）×1枚
※4つ折りで封筒に封入

③ 支援体制を整備する

11

活用を検討する **行政ほか地域主体への支援体制を整備**
→ 道内外のネットワークを構築し、相談対応力を強化

ネットワークの構築

✓ ナッジ、デザイン思考に取り組む
各研究会に参画、有識者や実践者
と関係を構築。



イメージ

✓ 情報共有ツール“Slack”を利用し、
道庁内関係者に留まらず、市町村
職員や民間なども包括したネット
ワークを形成



☑ 「有志」×「公式」による活動の継続

特に「公式」の側面では、

① 人事研修（ナッジ研修）の対象者拡充

および内容強化

② 道庁環境生活部との連携による環境分野に

おけるナッジの適用

☑ 道庁内外からの相談窓口整備

（プラットフォーム構築）

HoBiTの活動成果の一部は、
北海道HPに掲載されています。
「北海道 政策開発」で検索



北海道行動デザインチーム

Hokkaido Behavioral insight Team